

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想（イメージ）



東淀川区キャラクター
「こぶしのみのりちゃん」

出典：区広報紙（平成29年10月号）から転載

【東淀川区西部地域バリアフリー
まちづくり構想の9つのテーマ】

【検討会議でいただいた活用案】

01 

第三の居場所づくり・孤独を作らない

02 

子育てがしやすい・子どもの孤食をなくす

03 

高齢者が安心して暮らせる

04 

誰にもやさしいユニバーサルデザイン

05 

楽しい地域活動ができる

06 

人と人をつなぐ垣根を越えた関係

07 

多様な世帯にとって住みよい住環境

08 

世界各地から人が集まり交流が生まれるまち

09 

歴史や文化を尊重するまち

- ハルカスのような複合・高層施設
- 子どもが遊ぶ商業施設 親子で低予算で遊べる施設
- 保育園、幼稚園 塾

- 幼稚園・老人ホーム（ゆりかごから墓場まで）

- グランピング
- 上方ビールとの連携
- 広場＋屋根

- 看護系の学校
- 教育施設 緑化（例えばクワガタが捕れる、等）
- 医療センター
- 様々なスポーツの強化施設（全日本レベル） ➢ IR
- 乗馬（富裕層をターゲットに） ➢ 牛を飼う→淡路地域のコミュニティビジネス
- めんたいパークのようなお土産特化 ➢ 近大と連携し、鰻の養殖
- スポーツ施設・体育館・グラウンド ➢ 淡路ドーム（6万人収容）

- 国際・教育・文化施設
- 生涯学習施設
- 図書館



もと西淡路小跡地検討の今後の進め方①

【考慮すべきこと】

- 大阪市教育委員会が定めた「大阪市立小学校 学校配置の適正化の推進のための指針」に、次の内容が記載されていること。
 - ⇒これまで学校施設は地域の住民にとっても投票所や、災害時における避難所として指定されてきたことから、個々の学校跡地に係る地元の住民の意見や要望を十分に聞くなど柔軟な対応を行い、慎重に方策を検討していく必要がある。
- もと西淡路小学校の防災拠点としての機能の確保。
- 地域活動等の拠点（コミュニティの拠点）としての存続を求める地域の意見、要望があること。
- 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想に沿った活用方策とすること。

もと西淡路小跡地検討の今後の進め方②

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想

【基本理念】みんなで つながる ふだん暮らしのまち

【基本目標】・地域のつながりによる安全・安心づくり
・だれもが住みやすく楽しく暮らせるまち
・関西各地につながる便利・快適なまち

防災拠点としての活用
(区役所)

テーマA

テーマ・・・

テーマB

①地元意見・要望等の
収集
(検討会議、地元説明会
等の開催)

②活用方針（素案）に取り
入れるテーマの検討

③区将来ビジョン及び周辺
地域でのまちづくり計画に
適合する活用方針（素案）
の策定

⑤活用方針（素案）
に対する市場調査、
意見公募の実施

⑥活用方針の決定

令和6年度以降

事業者の公募

事業者決定

事業化